

都城市山之口ふるさと産品販売所外2施設指定管理者候補者選定の概要

都城市山之口ふるさと産品販売所外2施設の指定管理者については、次のとおり候補となる団体を公募により選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和元年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営に当たることとなります。

1 指定管理者候補者の概要

(1) 団体の名称

道の駅山之口株式会社

(2) 代表者名

代表取締役 山元 浩之

(3) 所在地

都城市山之口町山之口2304番地6

(4) 設立年月日

平成6年6月9日

(5) 従業員数

14人

(6) 業務内容

ふるさと産品販売所での特産品、軽食等の販売

ふるさと産品販売所での道路、観光等の案内

道の駅全体の施設管理 他

2 指定期間

令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)

3 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

施設名及び所在地	施設規模
都城市山之口ふるさと産品販売所 (都城市山之口町山之口2304番地6)	敷地面積:474.96㎡ 延床面積:278.70㎡
都城市山之口農林水産物直売・食材供給施設 (都城市山之口町山之口2304番地1)	敷地面積:9,591㎡ 延床面積:211.60㎡
都城市山之口農林水産物処理加工施設 (都城市山之口町山之口2304番地1)	敷地面積:9,591㎡ 延床面積:313.40㎡

(2) 業務概要

① 農林水産物、特産品等の展示販売及び食材供給に関する業務

②地域資源等の紹介及び地域情報の提供に関する業務

③上記のほか、施設等の管理及び運営に関する業務

#### 4 事業計画の概要

事業計画書概要版のとおり

#### 5 選定結果の概要

##### (1) 公募の状況

###### ① 申請団体数

1団体

###### ② 指定管理者候補者選定までの経過

令和元年6月5日

第1回選定委員会開催

令和元年6月12日～7月10日

募集(広報都城6月号、市ホームページへの掲載)

令和元年7月17日～7月26日

申請書類受付

令和元年9月20日

第2回選定委員会開催、面接審査

令和元年10月7日

選定結果報告

##### (2) 都城市指定管理者候補者選定委員会委員構成

委員構成		人数
有識者	学識経験者	1人
	税理士	1人
	司法書士	1人
	行政書士	1人
	宮崎県職員	1人
施設利用者代表		1人

##### (3) 選定理由

令和元年6月5日及び令和元年9月20日に実施した都城市指定管理者候補者選定委員会において、書類審査・面接審査をもとに、選定基準に基づいて総合的に審査・選考(総合得点方式)を行った結果、以下の理由で、道の駅山之口株式会社が指定管理者として適正であると判断しました。

「選定基準1 市民の平等な利用が確保されること」

市の管理運営方針、施設の設置目的を十分に理解しており、相談・苦情等対応責任者を配置するなど、利用者に対する迅速で適切な対応が期待できること。

「選定基準2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること」

利用者の動向等の分析からレストランの改革に着手しているほか、情報機能の整備

やアンケート集約手法等の改善の取り組みが提案されており、利用者サービスの向上や利用促進が期待できること。

「選定基準3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること」

適正な経費配分の考え方が提案されており、人件費等も適正であること。

「選定基準4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること」

長期にわたり管理運営してきた実績に加え、組織基盤、財務状況も安定しており、経営改革にも着手できる体制が整っていることから、提案内容の実現に期待が持てること。

「選定基準5 地域に貢献する取り組みが確保されていること」

地元商工会や地域団体と連携した季節毎の感謝祭の開催や地域行事への参加、地域農業者と連携して地元の農産物等を使用したレストラン料理の提供など地産地消にも積極的に取り組み、地域の活性化と経済的貢献に期待できること。

「選定基準6 その他、公の施設を管理させるに当たり必要な基準」

地域資源や文化財を上手く取り込んだイベントの開催等、集客増のための挑戦的な取組計画が大いに期待できること。

#### (4) 選定委員会における主な意見

- ・ 集客や利用者増をはかるための方策について分析がなされており、計画的な経営ビジョンを持ち合わせている。
- ・ 全体的に堅実で安定した経営が行われている。
- ・ 道の駅における春と秋のイベント開催や地域行事への積極的な参加と協力が見られ、地域の活性化を図っている。

#### 〈選定基準に関する事項〉

- ・ 選定基準については、事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであることに重点的に配点を行った。

#### (5) 選定結果

別紙のとおり

選定結果

施設名：都城市山之口ふるさと産品販売所外2施設

選定基準	配点	採点結果	審査項目	一人当 たり配 点	審査内容
		道の駅山之 口株式会社			
1. 市民の平等な利用が確保されること	114	92.4	管理運営方針等	13	市の管理方針を認識しているか。 公の施設の設置目的を理解しているか。 申請団体の経営モラルは適切か。 環境に配慮した取り組みをしているか。
			平等利用	6	利用申込等の公平な利用の確保の提案がされているか。 相談や苦情等の対応が提案されているか。
2. 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること	162	131.2	利用の促進	13	住民ニーズに基づく利用者増の提案がされているか。 利用者増のための広報・PR 対策の提案がされているか。 関係団体や地域住民との連携、交流が図られ、農産物等の販売において地域への配慮の提案がなされているか。
			サービス・利便性の維持向上	14	利用者サービスの向上について提案がされているか。 施設の維持管理、安全管理について、的確な実施計画が提案されているか。 施設の設備、機能等の有効活用について、提案がされているか。 適切な利用料金の提案がされているか。
3. 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること	42	31.4	経費配分	7	具体的な管理業務の効率化の提案がされているか。 適正な経費配分の考え方について提案されているか。
4. 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること	174	140.8	物的能力	13	安定した運営が可能な申請団体の財務状況か。 類似施設を良好に運営した実績があるか。 収支計画の積算根拠が明確で、実現可能なものか。 収支計画と事業計画の整合性は図られているか。
			人的能力	16	組織体制、勤務体制、責任体制が確立されているか。 利用団体の指導及び育成支援の提案がされているか。 職員の指導育成、研修体制及び接遇向上のための提案がされているか。 個人情報保護、情報公開及び労働法令等について十分認識しているか。 まちづくりへの熱意、申請団体（新規）の将来性、地域団体や地域住民等との融合性、高齢者、障がい者雇用への配慮、利用状況を把握しているか。

5. 地域に貢献する 取り組みが確保され ているか	72	62.4	地域貢献	12	都城市内に本店等を有するか。
					地域雇用の考え方が示されているか。
					地域貢献の取り組みが示されているか。
6. その他、公の施設を 管理させるに当 たり必要な基準	96	73.4	道の駅とし ての機能	16	国土交通省の指定する「道の駅」として、休憩機能、情報発信機能、地域の連携機能提案がされているか。
					道の駅として、県内外から多くの観光客を集客できる事業計画の提案がされているのか。
					関係機関、地域住民・団体との協働による各種イベント等の開催の提案がされているか。
					地域振興のため、歴史・文化・産業等に関する情報提供と交流の場の計画が提案されているか。
地域特性を最大限に生かした地域情報の発信、交流拠点、防災拠点として、利用者にとって利便性の高い施設を求めるための具体的内容の提案がされているか。					
合計	660	531.6		110	
〈参考〉：提案金額（単位：千円）		3,244	（令和2年度）		

※提案金額をそのまま指定管理料として決定するものではなく、予算査定等を経て市議会の議決により決定するものです。